

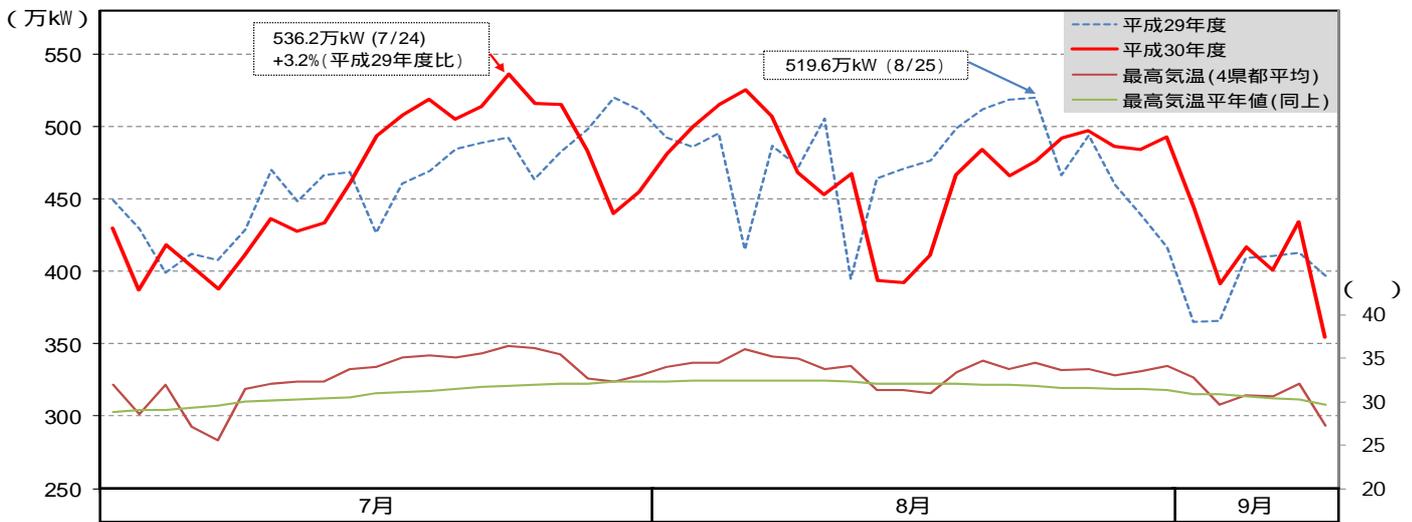
平成30年9月21日
四国電力株式会社

平成30年度夏季の電力需給実績について

平成30年度夏季の四国エリアにおける電力需給については、需要面では、梅雨明け以降、高気温が続いたことから冷房需要が増加し、7月24日に東日本大震災以降で最高となる536万2千kWの最大電力を記録しました。一方、供給面では、広島高等裁判所の差止仮処分決定により伊方発電所3号機の運転ができない状況が続く中、火力発電所等の予防保全や週末を利用した補修により、必要な供給力を確保して安定供給を図ることができました。

最大電力の推移（お盆を除く平日）

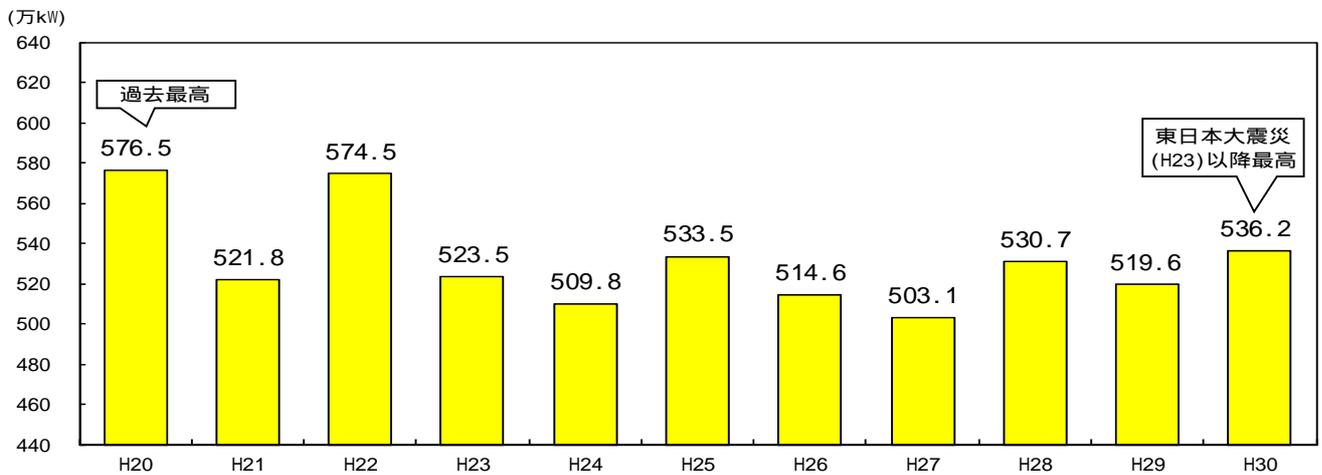
最大電力：1日のうちで最も多く電気が使われた時の使用電力。（単位：kW）



最大電力発生日(7月24日)における需給バランス（送電端）

最大電力(A)	供給力(B)	予備力 C=B-A	予備率(C/A×100)	発生時間
536.2 万 kW	582.5 万 kW	46.3 万 kW	8.6%	16～17時

（参考）最大電力の経年推移（至近10カ年）



最大電力発生日	H20.8.4	H21.8.21	H22.8.20	H23.8.9	H24.8.7	H25.8.22	H26.7.25	H27.7.31	H28.8.22	H29.8.25	H30.7.24
当日最高気温	35.0	33.7	35.0	34.1	35.5	35.5	35.7	35.1	36.0	35.4	36.4

以上